

I イエス様は罪人を招く為に来られた

マタイ 9:9 イエスは、そこを去って道を通りながら、取税所にすわっているマタイという人をご覧になって、「わたしについて来なさい。」と言われた。すると彼は立ち上がって、イエスに従った。10 イエスが家で食事の席に着いておられるとき、見よ、取税人や罪人が大ぜい来て、イエスやその弟子たちといっしょに食卓に着いていた。11 すると、これを見たパリサイ人たちが、イエスの弟子たちに言った。「なぜ、あなたがたの先生は、取税人や罪人といっしょに食事をするのですか。」12 イエスはこれを聞いて言われた。「医者が必要とするのは丈夫な者ではなく、病人です。」13 『わたしはあわれみは好むが、いけにえは好まない。』とはどういう意味か、行って学んで来なさい。わたしは正しい人を招くためではなく、罪人を招くために来たのです。」

1. マタイの招き

- マタイの福音書の作者であるマタイは取税人であった。
- イエス様が取税所に座っているマタイをご欄になって、マタイを呼ばれた。
- マタイはすぐにイエス様に答えて、取税人という仕事を辞めて、イエス様に従いました
- マタイは、自分の同僚をイエス様の元に導きました。

2. 取税人や罪人たちとの食事 【マルコ 2:15】

- 1) マタイの家で取税人や罪人が食事に招かれた
- 2) イエス様も共に食事をされた
- 3) パリサイ人達は、イエス様が取税人や罪人と食事することに疑問を抱いた
「なぜあなたたがの先生は、取税人や罪人といっしょに食事をするのですか？」

- 取税人は、異邦人であり敵であるローマに仕え、しばし不正に税を取り立てて私腹を肥やしている憎むべき人達でした。
- パリサイ人は同じユダヤ人でありながら、取税人を異邦人、罪人扱いして、会堂からも追放して、家に入るどころか食事さえもともにしませんでした。
- **パリサイ人は、自分たちは律法を守る「義人」とであると自負していました。**

➔ 現実には、全人類が神様の前で「罪人」なのです。

ローマ 3:10 それは、次のように書いてあるとおりです。「義人はいない。ひとりもない。
ローマ 3:23 すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、
24 ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いのゆえに、価なしに義と認められるのです。」

3. 罪人を招くために来られたイエス様

- 病人が医者が必要とするように、罪人には救いが必要である。
- お金を一番にして人々より不正に税金を取り立てて、世の中から罪人扱いされて、ユダヤ社会から除外されていた人々こそ神の義を知り、救われる必要があるのです。
- イエス様は、ユダヤ社会でのけ者にされていた人々を訪問されました。
取税人を弟子とされ、遊女の罪を赦し、福音を伝えました。

II イエス様の宣教 : 病人の癒し、死人の蘇り、らい病人をきよめ、悪霊追出し

1) あらゆる病気を癒された

マタイ 4:23 イエスはガリラヤ全土を巡って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、民の中のあらゆる病気、あらゆるわずらいを直された。

2) らい病人をきよめられた

マタイ 8:1 イエスが山から降りて来られると、多くの群衆がイエスに従った。2 すると、ひとりのらい病人がみもとに来て、ひれ伏して言った。「主よ。お心一つで、私をきよめることがおできになります。」3 イエスは手を伸ばして、彼にさわり、「わたしの心だ。きよくなれ。」と言われた。すると、すぐに彼のらい病はきよめられた。

3) 悪霊追出し

マタイ 8:32 イエスは彼らに「行け。」と言われた。すると、彼らは出て行って豚にはいった。すると、見よ、その群衆全体がどつとがけから湖へ駆け降りて行って、水におぼれて死んだ。

4) 死人のよみがえり

マタイ 9:18 イエスがこれらのことを話しておられると、見よ、ひとりの会堂管理者が来て、ひれ伏して言った。「私の娘がいま死にました。でも、おいでくださって、娘の上に御手を置いてやってください。そうすれば娘は生き返ります。」9:25 イエスは群衆を外に出してから、うちにおはいりになり、少女の手を取られた。すると少女は起き上がった。

III イエス様は弟子たちにも同じように命じておられます

マタイ 10:7 行って、『天の御国が近づいた。』と宣べ伝えなさい。:8 病人を直し、死人を生き返らせ、らい病人をきよめ、悪霊を追い出さなさい。あなたがたは、ただで受けたのだから、ただで与えなさい。

1) 福音を伝えなさい「天の御国が近づいた」

2) 病人を直し、死人を生き返らせ、らい病人をきよめ、悪霊を追い出さなさい

3) わたしの名のためにあなたがたはすべての人々に憎まれます。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます

→ 世の中で迫害される：宗教家たちによって鞭打たれ、議会にかけられ、投獄される

→ 家族で迫害される：憎まれる、迫害される

4) マタイ 10:39 自分のいのちを自分のものとした者はそれを失い、わたしのために自分のいのちを失った者は、それを自分のものとします。

1. メッセージ：イエス様は罪人を招く為にこの世に来られた

2. イエス様の宣教：罪人や病人を訪問して、福音を伝え、癒し、悪霊追出し、救われた

3. 弟子たちの宣教：イエス様がされたことを同じようにしていくこと。

→ イエス様の宣教

1) パリサイ人は、罪人に関して、どのような心と態度を持っていたでしょうか。

2) イエス様はどのように、人々の病を癒し、悪霊を追い出し、罪人を訪問されたのでしょうか。福音書を読み観察してみましょう。

3) イエス様の罪人や病人に対する心を知りましょう。どのような心をもっておられたでしょうか。

→ 私達の宣教

1) 主は私達に同じことをするように命じられました。実生活で人々の為に手を置いて祈りましょう

2) 世の中のすべての人に憎まれる【家族を含む】迫害される。【肉体的、精神的な迫害に会う】

3) 最後まで耐え忍ぶ者は救われます。イエス様はどのようにして勝利された？ マタイ 10:39

4) 罪の世の中で、福音伝え、病人の為に祈り、悪霊を追い出しましょう。死人をもよみがえらせる力を与えられていることを覚えましょう。